

これからの地域まちづくりについて 意見交換用レジュメ

1 意見交換の目的

第8期の委員任期の期限を踏まえ、現在の委員の皆さまで2年間を振り返り、これからの地域まちづくりについてお考えのことを意見交換し、次年度以降の横浜市の取組にいかしていきたい。

2 意見交換の視点

- ・ 郊外部の住宅地では、どのような暮らし方、住まい方が求められるのか？
- ・ 選ばれるまちとなるために、郊外住宅地に対してどのような施策が必要か？
- ・ 人口減少・高齢化の進展により、郊外住宅地の空き地・空き家の増加が見込まれる中で、どのように住宅地の更新を進めていくべきか？
- ・ 新たな技術をいかして、支え合いの地域づくりをどのように継続していけるか？

<情報提供>

令和2年度の都市整備局有志職員による検討

「若者世代が流入するまちづくりを考える」

(1) 背景

- 団塊世代が後期高齢者世代となり、今後、人口減と空き家の増加が進むことで、郊外住宅地では地域コミュニティの低下、商業の撤退及び地域交通の縮退等により、近い将来には地域が崩れてしまう可能性がある。
- 新型コロナウイルス感染症を契機として、都市での働き方や住まい方の見直しが進むなど、郊外部のまちづくりが転換期を迎えている。

(2) キーワード

- ・ 人口構造の変化（人口減少、超高齢化、人口流出）
- ・ 地域コミュニティの活力低下（生産年齢人口の減少、担い手不足）
- ・ 住宅地のスポンジ化（空き地・空き家の増加）
- ・ 若年世代に選ばれるまち／まちのブランディング
- ・ 通勤地、居住地、交通利便性、ライフスタイルの多様化
- ・ コロナ禍による影響、IT化の促進

(3) 郊外部のまちづくり施策案

- 施策① 住宅地需要を支えるための業務機能の誘導
- 施策② 選ばれる住宅地となるための街並み形成
- 施策③ 転入・定住促進施策の実施
- 施策④ 地域ごとのまちづくりの推進